

Version 9.7 リリースノート

Vericut V9.7 をご紹介できることを嬉しく思います。

本バージョンでは、Vericut AI プラットフォームの機能強化、パフォーマンスの向上、ユーザーインターフェースの改善など、大幅な進化を遂げています。

Vericut Assistant (VA) は、Vericut に直接組み込まれた AI 駆動の支援機能です。

オートディフの操作方法を学習しているとき、座標系を作成しているとき、あるいは他の作業を実行しているときなど、VA は必要な時に必要な場所で、状況に応じた明快なサポートを提供します。

Vericut Assistant (VA) を搭載した、新しい F2 ツールチップ及びガイダンスをご紹介します。

F2 キーを 1 回押すだけで、インターフェース上で直接、状況に応じた説明やステップバイステップのガイダンスにアクセスできます。

この AI を活用した統合型アシスタント機能により、Vericut の習得や操作がしやすくなり、機能を最大限に活用しやすくなっています。

Vericut AI プラットフォームは進化を続けており、ワークフローの効率化と、ユーザーが利用できる機能の拡充を図っていきます。

新しい「Vericut Intelligence (VI)」を含む詳細については、以下のサイトをご覧ください。

<https://vericut.com/ja-jp/products/ai>

Vericut V9.7 には、パフォーマンス向上、生産性向上、そして更なる効率化を図るための機能強化が数多く含まれています。

以下のページでは、シミュレーション、検証、および最適化に関する最新の機能強化をご紹介します。Vericut を最大限に活用し、価値を最大限に引き出すための情報を是非ご覧ください。

Vericut を NC プログラミングや加工業務における重要なツールとしてご活用いただき、誠にありがとうございます。

35 年以上にわたり、CGTech は技術革新をリードし、お客様とともに Vericut を進化させてきました。

現在、CGTech のソリューションは航空宇宙産業から F1 レースに至るまで、幅広い業界において高い信頼性と導入実績を誇っています。

CGTech の革新を支える原動力は、「人」にあります。チームワークを大切にする企業文化と、お客様との協力関係によって、CGTech は革新的なソフトウェア企業へと成長してきました。

今後とも Vericut をご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

Ely Wahbeh

Vericut プロダクトマネージャー

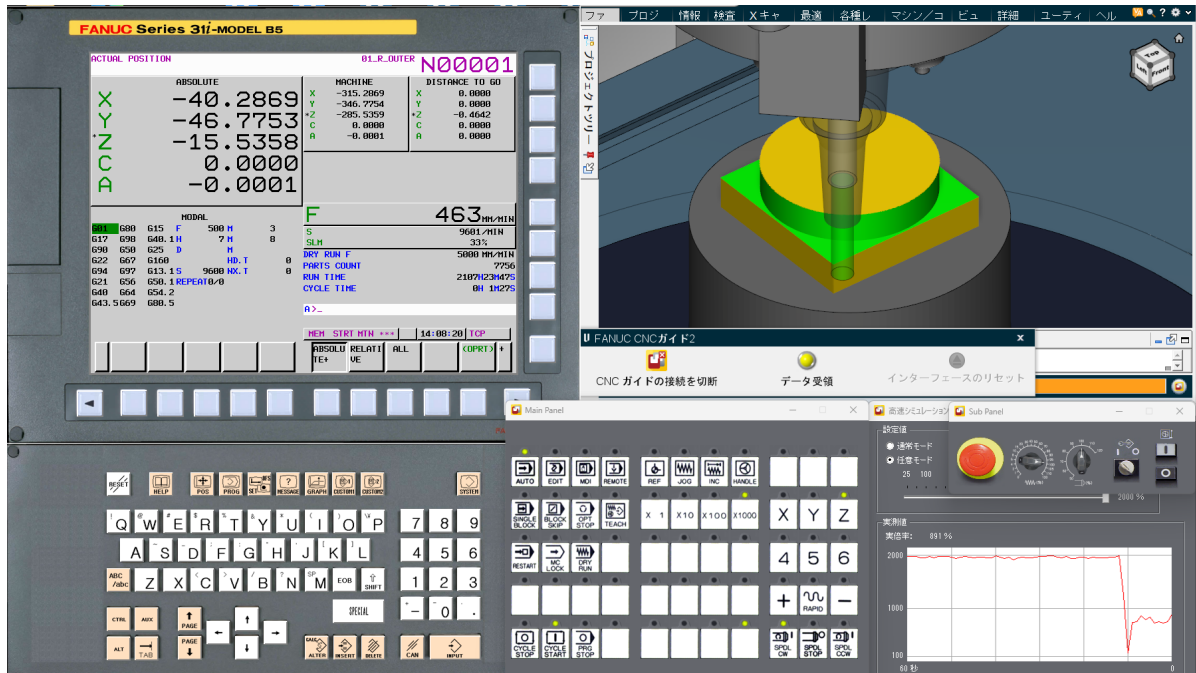
V9.7 の新機能ハイライト

■ FANUC CNC ガイド 2

Vericut の新しい FANUC CNC ガイド 2 とのインターフェースにより、ファナックの忠実な CNC シミュレーションを検証ワークフローへ直接統合できます。

CNC ガイド 2 は実機の挙動を再現し、実機を使用せずに迅速なプログラム検証を可能にします。

実際のファナックロジックを Vericut に組み込むことで、検証済みプログラムが現場で想定どおりに動作することの信頼性が向上します。



■ 強化されたツールチップおよび AI 支援ガイダンス

Vericut には、改良されたツールチップと統合 AI によるインコンテキストガイダンスが新たに追加されました。これにより、インターフェース上でより明確な説明とオンデマンドの支援を直接受けることができ、特に新規の利用者にとって、より直感的で分かりやすく、学習しやすいソフトウェアになっています。

VA (Vericut Assistant) は、Vericut の機能を調べる際に利用者がよく抱く、以下の 3 つの基本的な疑問に答えるよう設計されています。

- 何をする機能か
- どのように役立つか
- どのように使用するか

The screenshot displays the Vericut software interface. The top part shows the MDI (Manual Data Input) window with a diagram of a CNC machine and text explaining its function: "手動データ入力によりシミュレーションをすぐに実行し、Vericutで工作機械や切削の動作を迅速に確認できます。" (Execute simulation immediately by manual data input, and quickly check machine or cutting actions in Vericut). Below this, a text box asks: "詳細については、F1キーを押してヘルプ、F2キーを押してVAを参照してください。" (For details, press F1 for help, or press F2 to refer to VA).

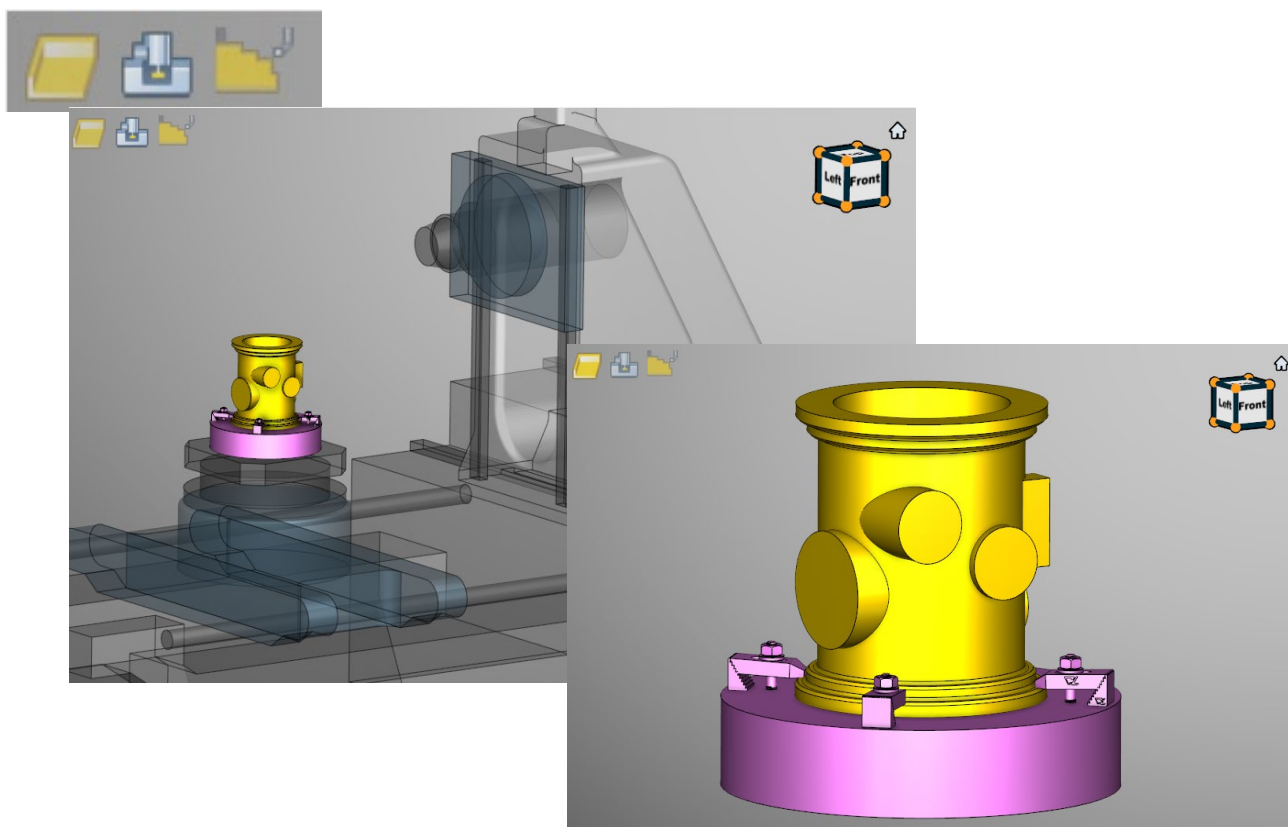
The bottom part shows the Vericut Assistant (VA) chat window. It has a sidebar with "New Chat" and "Clear History" buttons. The main area contains a chat history with a question: "MDIは何を行い、どのように役立つ、どのように使用するのでしょうか。" (What does MDI do, how is it useful, and how do I use it?). The assistant responds with three numbered sections:

1. MDIは何を行うか
 - 1. MDI コマンドボタンは、MDI ウィンドウを開きます。
 - 2. MDI は Manual Data Input の略です。
 - 3. この機能を使うと、G-Code データブロックを手動で入力して処理できます。
 - 4. Vericut の機械／制御の組み合わせが、G-Code データコマンドに対して期待どおりに応答するかを素早く確認できます。
2. MDIがどのように役立つか
 - 1. 機械シミュレーションの検証を簡単かつ迅速に行うのに役立ちます。
 - 2. G-Code を実行しながら、機械の応答を確認できます。
 - 3. Machine Motion Jog を使うと、実機のように Vericut の機械位置を少しずつ動かせます。
 - 4. Play MDI to End を使うと、NC Block List のすべてのブロックを実行できます。
 - 5. ただし、Machine Motion Jog と Play MDI to End の使用には Machine Simulation license が必要です。
3. MDI ウィンドウの表示方法
 - 1. 次のいずれかの方法で MDI ウィンドウを表示します。

At the bottom of the chat window, there is a text input field labeled "What would you like help with..." and a send button.

■ 表示コントロールの強化

新しい画面内アイコンにより、グラフィック領域から主要な表示タイプへ素早くアクセスできるようになりました。



材料、機械、旋盤ビュー表示は、ビューキューブの反対側である左上に表示され、これまで隠れていたメニューから簡単に切り替えられます。

これらの頻繁に使用されるオプションが常に表示されることで、インターフェース操作が高速化され、全体のワークフロー効率が向上します。

作業空間に直接コントロールを表示することで、必須機能へ即座にアクセス可能です。

■ アニメーションバーUI の刷新



アニメーションバーは、よりクリーンでモダンかつ、直感的な操作性となるよう再設計されました。再生ボタンやアニメーション速度調整などのコントロールは、より整理され、中央に集約されています。

視覚要素を簡素化し、分かりにくいインジケータライトへの依存を低減しました。これにより、アニメーション操作をより確実かつ効率的に行えます。

■ トレーニングビューアーパネル

新しいトレーニングビューアーパネルでは、アクティブなトレーニングセッションの指示ファイルを表示し、内蔵ナビゲーション機能によって手順を追いやすくなっています。

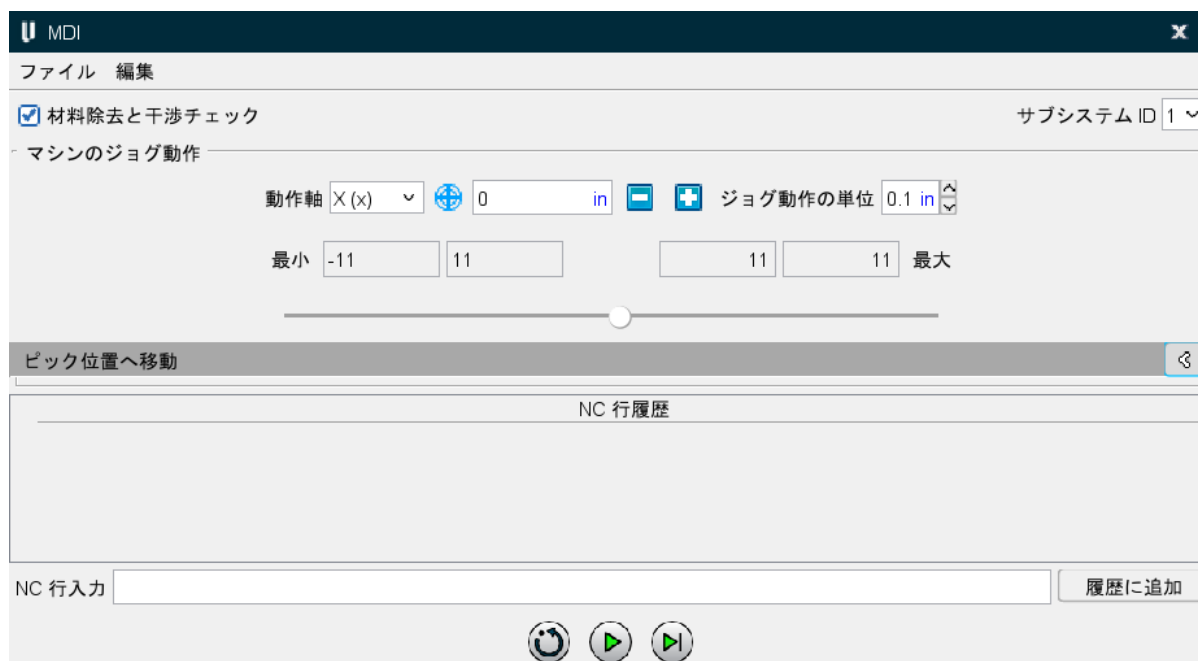


このドッキング可能なパネルは、トップメニューから直接トレーニングコンテンツを表示し、導入から実行までをシームレスにつなぎます。

作業空間内にトレーニング資料を統合することで、Vericut を離れることなくステップバイステップのガイダンスにアクセスでき、効率の向上と外部アプリケーションの使用削減を可能にします。

■ MDI ウィンドウ UI の改善

MDI ウィンドウは、一貫性と使いやすさ向上のため更新されました。再生およびステップコントロールは、更新された Vericut のアニメーションコントロールと整合し、より直感的に操作できます。



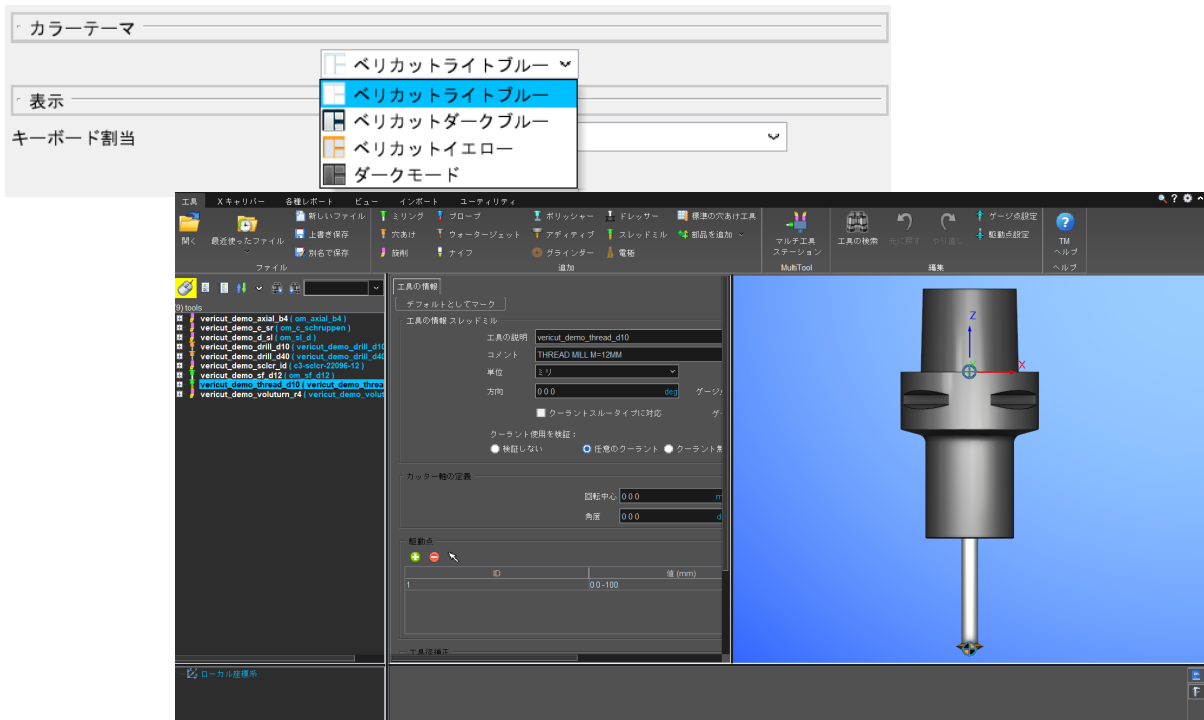
インターフェースは簡素化され、視覚的な煩雑さを低減しています。

「ピックアップ位置へ移動」設定など、使用頻度の低いオプションはデフォルトで折りたたまれ、作業への集中を維持します。

さらに、MDI ウィンドウを開くと、「材料除去と干渉チェック」がデフォルトで有効になり、より効率的で信頼性の高いシミュレーションワークフローを支援します。

■ 工具マネージャーのカラーテーマ対応

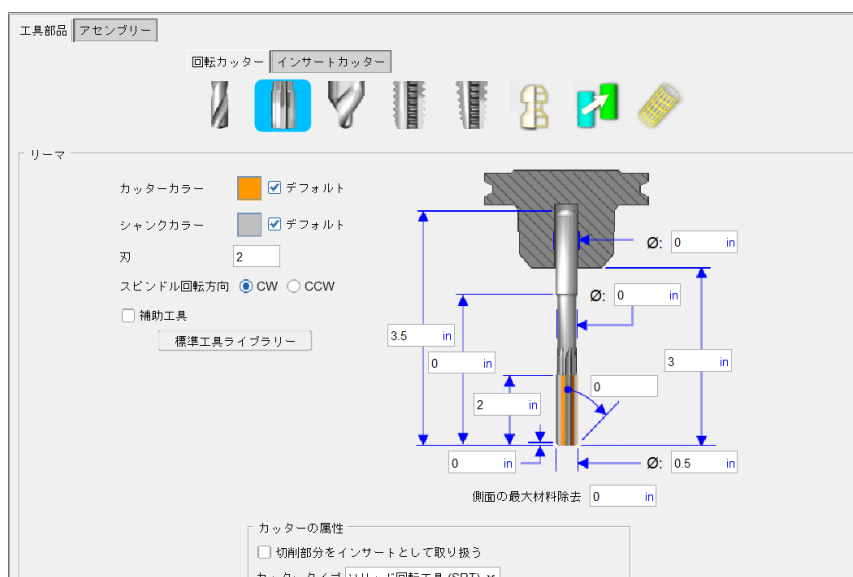
スタンドアロン版工具マネージャーの環境設定ウィンドウに、新たにカラーテーマセクションが追加されました。ペリカットダークブルーやダークモードなどのカラーに簡単に変更できます。これらのオプションは、Vericut の環境設定ウィンドウに既存のカラーテーマと同一です。



製品間の視覚的な一貫性が向上し、利用者は好みに応じてインターフェーステーマを選択できます。

■ リーマ面取り角度の調整対応

Vericut のリーマ工具は、調整可能な面取り角度 (ISO 13399:PLGANG) に対応しました。これにより、より正確な工具表現が可能です。

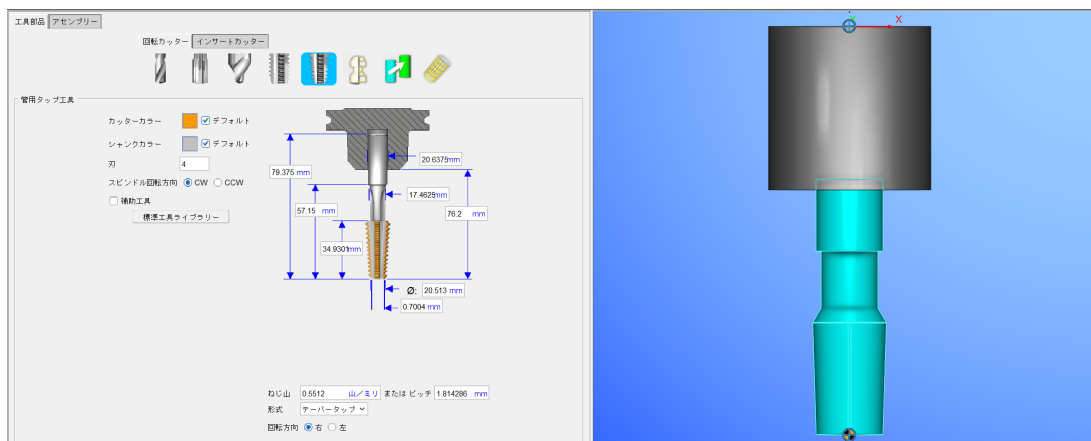


従来は 45 度固定でしたが、インポートされた工具データに基づいて面取り角度を定義できるようになりました。

外部工具システムとの互換性が向上し、シミュレーション精度が高まります。

■ 工具マネージャーに新しい管用タップ工具を追加

Vericut 9.7 では、工具マネージャーに新しい管用タップ工具タイプが追加され、テーパ付き管用タップを正確に定義およびシミュレーションできます。

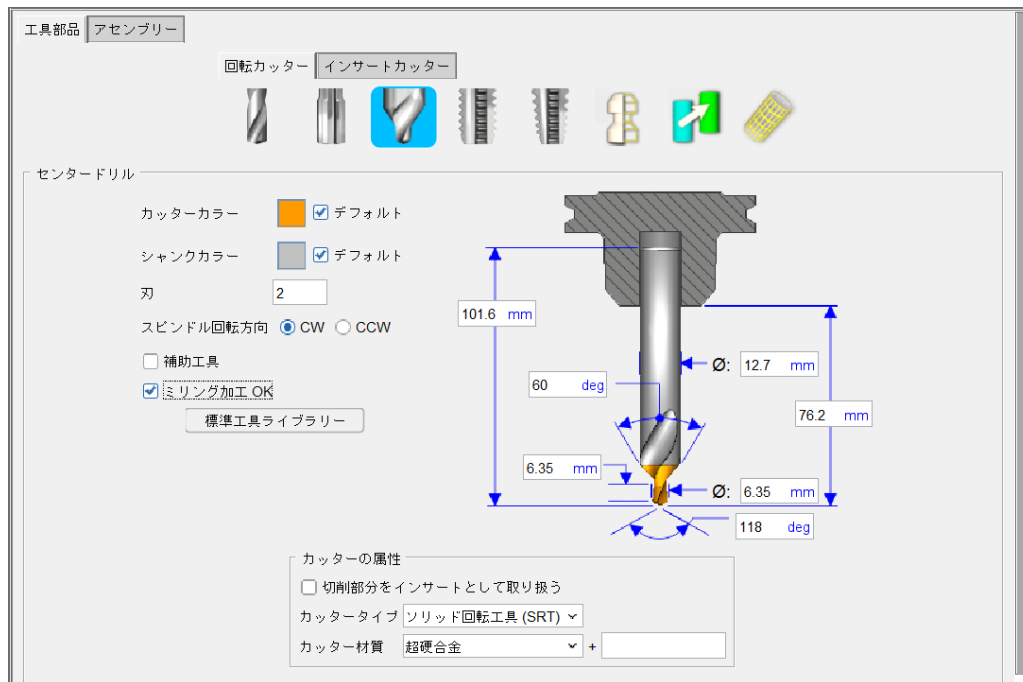


NPT、BSPT、BSPP 規格の標準サイズから選択可能で、業界標準に一致した現実的な工具作成が容易です。

管用タップは外側にテーパを持つ点が従来のタップと異なり、その形状がシミュレーションで正しく表現されます。長年の要望に応える機能であり、管用ねじ加工時の精度が向上します。

■ センタードリル用「ミリング加工 OK」オプション

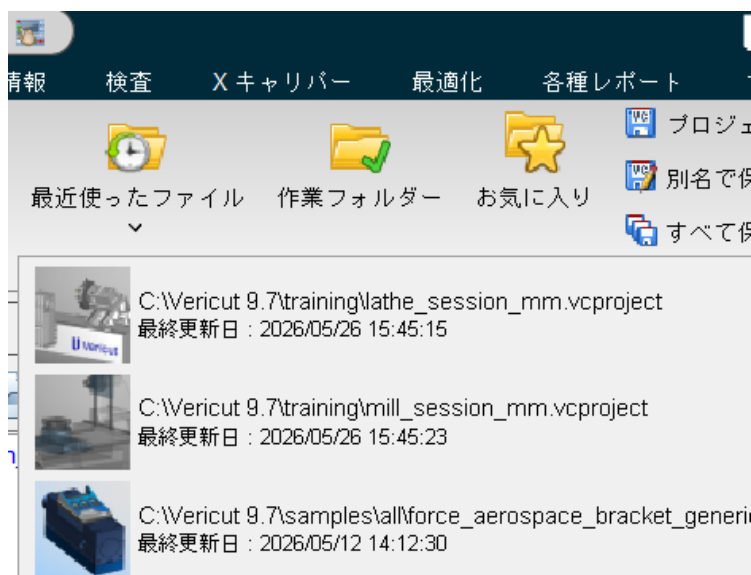
センタードリルに「ミリング加工 OK」オプションが追加され、横方向の切削加工に使用してもドリル関連エラーが発生しなくなりました。



工具部品タブで設定でき、標準ドリルに既存の機能と同等の動作です。これにより、シミュレーション精度が向上し、ミリング加工におけるセンタードリルの実用性が拡張されます。

■ 最近使用したファイルを開く機能での画像プレビュー

「最近使用したファイル」メニューに、プロジェクトファイルの画像プレビューが追加されました。



ファイル名だけに頼らず、視覚的にプロジェクトを識別できるため、複数または類似名称のファイルを扱う場合でも、作業効率が向上します。

■ クーラント検証の強化

Vericut は、シミュレーション中に各工具に正しいクーラントが使用されているかを、より包括的に検証します。



「クーラントチェック」が有効な場合、材料へ進入する際のアクティブなクーラント種別(フラッド、ミスト、スルースピンドル、エアなど)が、工具で指定された要件と一致しているかを確認します。

不一致がある場合は明確なエラーメッセージが表示され、不適切な加工条件を防止します。
新しいクーラントマクロも追加され、クーラント状態の制御性と精度が向上しました。

これにより、工具、機械、ワークの損傷リスクを低減します。

■ パフォーマンス向上

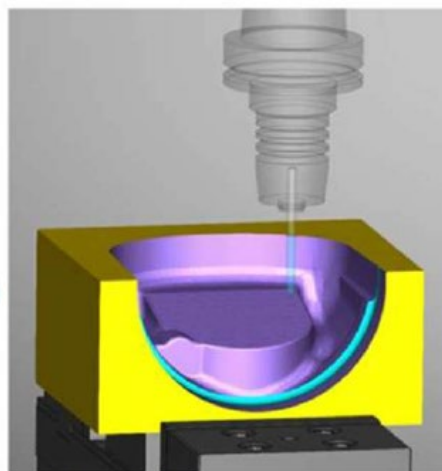
本リリースでは、Vericut のレビューモードおよびレビューアー全体で顕著なパフォーマンス向上を実現しています。複雑なプロジェクトやマルチセットアップ環境において、処理効率および描画性能が大幅に改善されました。

追加の改善点

- 処理速度
全体性能で約 10～20%向上
- 表示の再精細化
約 5～10%改善
- レンダリング(マルチセットアップ VCT)
約 50～80%改善

これらの強化により、待ち時間の短縮、表示応答性の向上、全体的なワークフロー効率の加速を実現します。

Part: "piston_mold" (V8.2 AUTO-DIFF sample)
Stock size: 190 x 160 x 90 mm
Cutting Res.: 0.5 mm
Model Tol.: 0.1 mm
NC program: 172,071 lines (G-code)



	9.6.2	9.7	Difference
Time to run full simulation:	7m 28s	4m 51s	1.5X faster
Memory used:	1745 MB	1356 MB	22% less memory used
Time to enter NC Program Review:	2.8s	13.7s	5X longer
Time to navigate in program ("Set Current")			
- 1/2 way thru program:	17s	3.8s	4-5X faster
- 1/4 way thru program:	33s	2.1s	16X faster
- 3/4 way thru program:	45s	6.5s	7X faster
- nearly finished program:	28s	10s	3X faster
Time to exit NC Program Review:	2.8s	3.4s	nearly equivalent
Time to save Review file:	1m 51s	20s	5-6X faster
Review file size:	651 MB	57 MB	11X smaller file size
Time to open Review file in Reviewer:	44s	30s	1.5X faster
Qty of program lines reviewed in 30 sec.:	1797	5542	3X lines reviewed
Avg. time to refine finished cut stock model:	1-2s	1-2s	equivalent

V9.7 における機能強化や変更

■ ベリフィケーション

- Run MyVirtual Machine で Probe (MEAS=1) および Touch (MEAS=2) に対応するようになりました。
- G コードログの確認時に重要なログエントリーを識別しやすくするためのカラー表示が追加されました。
- ログ内のオートディフサマリー行の高さが拡張され、削り過ぎや削り残しの発生時のエラーテーブルを確認しやすくなりました。

■ 工具マネージャー

- プローブ工具の半径情報の取得に対応しました。

■ G コード処理

- 別名を用いて異なるサブシステムへ変数を書き込むことができるようになりました。
- ワイヤ放電加工で ABC 回転動作がサポートされるようになりました。
- ハイデンハインで CYCL DEF 14.0、14.1、および 292 がサポートされるようになりました。

■ CAD/CAM インターフェース

NXV

- Fixture の命名規則 - 必要に応じて、従来の Fixture モデルの命名規則へ戻すことができる環境変数が追加されました。

■ 工具インターフェース

MachiningCloud

- 干渉防止カッターモデルインポートが STEP および ISO 規格に対応するようになりました。

V9.7 で解決した問題

■ ベリフィケーション

- 高画質表示時にモデル表示が正しく表示されない問題は修正されました。
- シミュレーション途中に材料モデルを有効化するとデータベースが破損する問題は修正されました。
- スピンドル方向が一致した時に連結部品方向が更新されない問題は修正されました。
- IGES のモード「スライス」が保存されない問題は修正されました。
- 溝加工用インサートで材料除去が正しく行われない問題は修正されました。
- 非切削インサートの干渉が誤検出される問題は修正されました。
- 注釈付き画像にビューキューブが含まれる問題は修正されました。
- 環境変数「TEMP/TMP」に日本語が含まれる場合にクラッシュする問題は修正されました。
- 工具径補正の結果がバージョン間で異なる問題は修正されました。
- 刃長のカラー表示がネック部で正しく適用されない問題は修正されました。
- 複数チャネルのシミュレーションが停止する問題は修正されました。
- 旋削モードの G03 動作で誤干渉が検出される問題は修正されました。
- マルチ APT で最初のツールパスが非アクティブな場合に切削が行われない問題は修正されました。
- 「工具交換の方法」設定が誤って変更される問題は修正されました。
- NC プログラムウィンドウ内でツールパスレビューが正しい位置に切り替わらない問題は修正されました。
- ミリング加工で使用される CAD インサート付き旋削工具において、まちがったスピンドル回転方向が正しく検出されない問題は修正されました。
- スペースキーで一行送りが実行されない問題は修正されました。
- ツールパスレビュー実行後に IP ファイルを保存するとクラッシュする問題は修正されました。
- 複数の NC プログラム検証時に、ログからエラーメッセージを選択してもビューと NC プログラムウィンドウが正しく更新されない問題は修正されました。
- SOR ファイルが正しく読み込まれない問題は修正されました。
- NC プログラムの巻き戻し後に、設計モデルが正しくない位置に移動する問題は修正されました。
- メイン材料とサブ材料を同時使用した時にクラッシュする問題は修正されました。
- 工具交換リストの頂点選択動作が不安定な問題は修正されました。
- ビュー方向が保存されない問題は修正されました。
- 材料ビューの「表示の基準にする部品」がビュー切り替えでリセットされる問題は修正されました。
- 「選択した行から再開」後にグラフがいつまでも更新され続ける問題は修正されました。
- ワイヤ放電において、複数の材料を異なる位置に配置して検証した場合に、予期しない結果が生じる問題は修正されました。
- 7 パラメーターで工具を定義する場合に、シャンク径に 0 を入力できない問題は修正されました。
- マルチ工具ステーションでドリル工具がタップ工具として誤認識されることがある問題は修正されました。
- 複数セットアップ使用時に、回転した材料形状が正しく生成されない問題は修正されました。
- プロジェクトツリーにおける工具データの表示が不正となる問題は修正されました。
- プローブ工具が正しく認識されない問題は修正されました。
- タレットの回転中心が正しく機能しない問題は修正されました。

- 「プロジェクトを開く」ダイアログの外にファイルをドラッグするとフリーズする問題は修正されました。
- ファイル選択ボックスでドラッグ&ドロップした際にフリーズする問題は修正されました。
- ツールパスレビューで駆動点が一致しない問題は修正されました。
- V9.6.2 において工具交換時に誤ったエラーが表示される問題は修正されました。
- 同じ工具を複数の NC プログラムにわたって使用すると、レポートのサイクルタイムが不正となる問題は修正されました。
- インサートドリルで材料が正しく除去されない問題は修正されました。
- 工具交換のイベント設定でマルチ工具ステーションを使用すると、工具位置が不正になる問題は修正されました。

■ レビューアー

- サブプログラムを使用する際のレビューアーのリセット動作を改善しました。リセットコマンドを実行すると、常に現在のセットアップ内で最初のアクティブな NC プログラムへ戻るようになりました。
- レビューアーでポップアップ情報が正しく表示されない問題は修正されました。
- ツールパス行を選択しても正しい位置へ移動しない問題は修正されました。

■ 最適化

- 「学習モードの開始」時に、既存の工具ライブラリーの上書き確認が二重に表示される問題は修正されました。
- 断続切削が正しく検出されない問題は修正されました。
- 材質データに加工方法が記録されず、デフォルトで荒加工として扱われる問題は修正されました。
- エアカット最適化および Force 最適化でツールパスが長くなる問題は修正されました。
- 学習モードで変位の計算中にクラッシュする問題は修正されました。
- コスト削減算出表において、穴あけ工具の最適化時間が正しく表示されない問題は修正されました。
- 最適化の加工時間が従来バージョンより大きく表示される問題は修正されました。
- プロジェクト読み込み直後にステータスバーへ表示される進行率および時間が正しくない問題は修正されました。
- タップ工具において、内径が 0 の場合に誤った干渉が検出される問題は修正されました。
- 最適化実行後にコスト削減算出表を開くと、コマンドウィンドウに内部エラーが表示される問題は修正されました。
- 「最適化の管理」ウィンドウサイズが自動的に変更される問題は修正されました。

■ 工具マネージャー

- 工具ファイルの保存確認メッセージが表示されない問題は修正されました。
- 単位変更時に切削面半径が正しくスケーリングされない問題は修正されました。
- 「選択した工具をエクスポート」時に STL ファイルが生成されない問題は修正されました。
- カッター部品の名称変更時に駆動点の接続先が変更される問題は修正されました。
- 「CAD のインポート」の「回転軸で方向を設定」を使用時にクラッシュする問題は修正されました。
- TLS ファイルをマージ後に保存できない問題は修正されました。
- 工具の注釈を使用時に、部品名のコピーや「固定位置注釈を追加」が複数回使用できない問題は修正されました。
- 刃長が工具の向きに依存して計算される問題は修正されました。

- マージが繰り返し実行できない問題は修正されました。
- カッターおよびシャンクのカラー表示が正しく機能しない問題は修正されました。
- 「切削部分をインサートとして取り扱う」の判定に誤った属性が使用される問題は修正されました。
- 旋削工具の駆動点が誤って設定される問題は修正されました。
- コピー／貼り付け時に材料の材質データが正しく転送されない問題は修正されました。
- 旧バージョンで作成されたプロジェクトを開いた際に旋削工具インサートの向きが変化する問題は修正されました。
- スピンドル方向のエラーが誤検出される問題は修正されました。
- 旋削工具でノーズ補正が設定できない問題は修正されました。
- タレットへ工具が装着できないことがある問題は修正されました。
- 旋削工具ホルダーの再配置時に工具先端が正しい位置へ移動しない問題は修正されました。

■ G コード処理

- Siemens CYCLE95 で配列エラーが発生する問題は修正されました。
- MEAFRAME において、点が非常に近接している場合に不正な値が生成される問題は修正されました。
- 工具ベクトルにおいて、同一ベクトルの場合に最短距離が選択されない問題は修正されました。

■ CAD/CAM インターフェース

CATV5

- センタードリルの直径が不正な問題は修正されました。
- 回転体の輪郭定義においてデフォルト単位が誤っている問題は修正されました。

Esprit TNG/EDGE

- サブスピンドル側の治具および材料がミラー表示される問題は修正されました。
- コンポーネントの積層処理により工具アセンブリーが不正となる問題は修正されました。工具アセンブリーは正しく構築されるようになりました。
- 工具がタレットへ正しくエクスポートされない問題は修正されました。タレットおよびマルチ工具ステーションの工具構成に関する問題は解消されました。

Esprit Classic

- ミリング工具が誤った位置でアセンブリーされる問題は修正されました。工具アセンブリーは正しい位置で構築されるようになりました。

GibbsCAM

- GibbsV からインポートされたプローブ工具に駆動点が設定されていない問題は修正されました。駆動点はインポート時に正しく作成されるようになりました。
- タップのシャンク形状(段付き／テーパ)が正しく出力されない問題は修正されました。
- Flash Tool 定義の処理不具合により無効な TLS データが生成される問題は修正されました。
- GibbsV から工具データが正しく転送されない問題は修正されました。

Mastercam

- リーマが正しくエクスポートされない問題は修正されました。
- 工具の輪郭が正しくエクスポートされない問題は修正されました。
- プローブの形状がエクスポートされない問題は修正されました。

- 直方体材料が正しい位置に配置されない問題は修正されました。基準点処理が改善され、正しく配置されるようになりました。
- 「駆動点を出力」が未選択でも旋削工具に駆動点 ID が付与される問題は修正されました。

NX

- フラット径 (FD) パラメーターに関連して、テーパバレルおよびタンジェントバレル工具が正しく出力されない問題は修正されました。
- 工具の輪郭データが Vericut に正しく転送されず、回転体の輪郭が負の値となりエラーが発生する問題は修正されました。
- 新規ファイル作成時に NXV 環境設定が上書きされる問題は修正されました。
- CAD 工具アセンブリーのエクスポート時に「工具ファイルがありません」と表示される問題は修正されました。

PROEV

- PROEV 使用時にカッターが欠落する問題は修正されました。
- ホルダーの「スピンドルと一緒に回転させない」設定が正しく動作しない問題は修正されました。
- スピンドル回転方向が正しく処理されない問題は修正されました。
- Creo で PROEV ボタンをクリックした際にクラッシュする問題は修正されました。
- タップ工具のエクスポート時にカッターが欠落する問題は修正されました。
- インチからミリへの変換誤りにより工具寸法が不正となる問題は修正されました。

SolidCAM

- 工具単位が必須扱いとなることにより、TLS ファイルが Vericut 9.6 で開けない問題は修正されました。

■ 工具インターフェース

CoroPlus

- 「切削データの取得」を選択した際に、刃数およびカッターの属性に誤った値が設定される問題は修正されました。

TDM

- 工具のシャンクがホルダーとして誤認識される問題は修正されました。シャンクの認識およびホルダー名称の処理が改善されました。
- 側面の最大材料除去の扱いが不統一であったため、リーマがインポートできない問題は修正されました。

V9.7 の新しいマクロ

次の新しいマクロが V9.7 で追加されます。これらのマクロの詳細については、ヘルプを参照してください。

AbsoluteShift2
CoolantAir
CoolantAirOff
CoolantAirThruOff
CoolantFloodOff
CoolantMistOff
CoolantOffType
CoolantThruOff
CutterCompInterferenceAtStartWarning
CutterCompRampoffSkipLast
CutterCompRamponSkipFirst
CutterCompShortCorner
CylindricalLogic
EIARotaryIncrementalOption
IncrementalShift2
SetMaxSubroutineNesting
WireEDM_UV_Plane
WireEDM_UVMotionState
WireEDM_XY_Plane
WireEDM_XYSetsUVMotionState
WireEDMCutWidth
WireEDMLogic
WireEDMThreadWire
EIARotaryIncrementalOption

Version 9.7.0.1 リリースノート

V9.7.0.1 における機能強化や変更

■ Gコード処理

- RTCP を使用するチルトヘッドリニアクイル機械において、ゲージスピンドルオフセットで駆動点ゼロをサポートするようになりました。

■ 工具マネージャー

- CAD ミリングインサート工具をインポートする際に、工具の Z 方向を指定できるようになりました。これにより、回転体工具と同等の柔軟な工具姿勢の指定が可能になりました。

■ CAD/CAM インターフェース

Edgecam

- Edgecam 2025.1.2614 と Edgecam 2026.1 に対応しました。
- 複数アタッチメントテンプレートのサポートを強化し、工具作成および設定作業を改善しました。

■ 工具インターフェース

ZOLLER

- インポート時に 3D 旋削工具定義を正しく旋削工具として認識するよう機能強化しました。末尾が「Turn」または「Turning」で終わる特性 ID が含まれます。

■ VDAF

- シーケンス位置のコンテキストメニューに切り取り、コピー、貼り付けコマンドを追加しました。位置データの複製や再配置をより簡単に行えるようになりました。

V9.7.0.1 で解決した問題

■ ベリフィケーション

- Vericut でダークモードを使用している場合に、トレーニングビューアーのナビゲーションペインが正しく表示されない問題は修正されました。
- トレーニングビューアーのナビゲーションペインが正しく表示されない問題は修正されました。
- シミュレーション中またはシミュレーション後にグラフィックスビューを回転またはズームすると、Vericut がクラッシュする場合がある問題は修正されました。
- サブスピンドル旋盤で旋削加工を行った際、材料除去時に回転体切削モデルが正しく生成されない問題は修正されました。
- 一部の DXF ファイルで X 軸と Z 軸が反転してインポートされ、ジオメトリの向きが不正になる問題は修正されました。
- ツールパスレビュー中に 駆動点ゼロがツールパスより 1 レコード分遅れて表示され、位置合わせが不正になる問題は修正されました。
- ライセンスサーバーが利用できない場合、起動中に Vericut が応答なくなり、ライセンスエラーメッセージを閉じられなくなる問題は修正されました。
- シミュレーション中にシャンクとホルダー間で誤った干渉が報告される問題は修正されました。
- ポケット順序を反時計回り (CCW) から時計回り (CW) へ変更した際、特に末端が 2 つの直線セグメントで構成されるツールチェーンで工具位置が不正になる問題は修正されました。
- 旧バージョンから Vericut 9.7 に移行されたプロジェクトで、.sor ファイルの動作が不正になる問題は修正されました。
- 部品の追加および名称変更時に、子部品の範囲が誤って設定される問題は修正されました。
- 工作機械を置換した際に、シミュレーション中の干渉判定が不正になる不具合を修正しました。
- タレットの作成で追加した工具部品がプロジェクトを再度開くまで完全に初期化されない問題は修正されました。座標系がグラフィックエリアに正しく表示され、再度開かなくても削除できるようになりました。
- シミュレーション中にタレット工具のみを変更した場合、Java のメモリ使用量が継続的に増加し、長時間のマシンシミュレーションで過剰なメモリを消費する問題は修正されました。
- 旧バージョンの Vericut で設定した干渉検出ペア設定が保持されない問題は修正されました。

■ G コード処理

- リンクマクロを使用した穴あけ加工で、早送り速度が正しく表示されない問題は修正されました。
- 極座標モードで X0 Y0 への移動後に、工具の動作が停止する問題は修正されました。

■ 工具マネージャー

- 「移動 > 円の中心」で工具部品を移動すると、アプリケーションが応答しなくなる問題は修正されました。

■ CAD/CAM インターフェース

Edgecam

- 新しい Edgecam インターフェース使用時に、下側タレットの工具方向および装着状態が不正になる問題は修正されました。
- 複数セットアップを含むプロジェクトが Edgecam インターフェースで正しく処理されない問題は修正されました。

Esprit TNG/EDGE

- 駆動点の割り当ておよび位置情報が誤って転送され、インポートした工具の駆動点 ID および位置が正しく設定されない問題は修正されました。
- Esprit のシステム言語がドイツ語の場合、材料、設計モデルなどの位置が誤ってインポートされる問題は修正されました。
- Esprit TNG インターフェースにおけるタレット設定の転送に関する問題は修正されました。
- Esprit インターフェースの実行中にエラーが表示される場合がある問題は修正されました。

Mastercam

- Mastercam インターフェース経由でインポートした旋盤工具の輪郭が不正に生成される問題は修正されました。
- Mastercam インターフェースからインポートした一部の工具に、誤った形状が含まれる問題は修正されました。
- Mastercam インターフェースからインポートしたタップ工具のゲージ点およびシャンク径が不正になる問題は修正されました。

NXV

- NXV インターフェースからの出力時に NX がクラッシュする場合がある問題は修正されました。
- NX アセンブリナビゲータで選択した治具モデルがすべて転送されない問題は修正されました。
- 正しく回転されたカッターではなくインサートが転送される問題は修正されました。

PowerMILL

- インターフェース経由で座標系が正しく配置されない問題は修正されました。

■ 工具インターフェース

ZOLLER

- 「Use Contour」(.stp ファイル)を使用せずに取り込んだ Mill/Drill 汎用インサート工具で、正しいスピンドル方向が読み込まれない問題は修正されました。

TDM グローバルライン

- タップ工具のインポートに失敗する問題は修正されました。

■ レポート

- ユーザー指定のテーブル高さを含む、テーブルの書式設定を変更できない問題は修正されました。
- Vericut 9.6 で編集・保存したテンプレートを使用した際に、PDF レポートの表がページ余白を超えて表示される問題は修正されました。
- Vericut-BEGINTABLE レポートマクロを使用して作成した表が、生成されたレポート上で空のテーブルとして表示される問題は修正されました。

■ レビューアー

- レビューアー使用中に材料が表示されなくなる問題は修正されました。

■ VDAF

- FastenerRemove マクロで手動作成されたリベッターを削除できない問題は修正されました。
- シーケンス内の選択位置で双方向並べ替えを実行すると、VDAF が応答しなくなる問題は修正されました。
- 一時リベッターとの干渉が赤色で強調表示されない問題は修正されました。
- シーケンスで位置選択後に、追加クリアランス値が誤った位置 ID に適用される問題は修正されました。

■ ドキュメント

- マクロドキュメントの一部が破損または欠落していた問題は修正されました。

Version 9.7.1 リリースノート

V9.7.1 における機能強化や変更

■ ベリフィケーション

- マルチステーション工具によるシミュレーション中の材料除去をサポートするようになりました。
- マルチステーション工具のカッタージオメトリ認識を強化し、ホルダー干渉検出を改善しました。
- 注釈付き画像を編集した際にプロジェクト変更として認識し、プロジェクトとともに保存できるようになりました。
- トレーニングビューアーに、展開および折りたたみ操作を分かりやすく表示する新しいノードを追加しました。
- 工具交換以降に各工具が消費した切削エネルギーをレポートできるようにしました。切削最適化を使用する工具に対して切削エネルギーを計算します。
- レポート画像の置換を容易にするため、画像のポップアップメニューに「画像を置き換える...」を追加しました。

■ Gコード処理

- デバッグを無効にした場合でも、複数チャネル工作機械の処理中に マシン/コントローラサブルーチンが表示される問題を修正しました。
- ライブラリーの Haas コントローラで、G253、G268、および G269 をサポートしました。
- Cycle 444 の 3D プロービングを含む TCH PROBE 444 をサポートしました。

■ CAD/CAM インターフェース

PROEV

- PROEV インターフェース経由でスレッドミル工具を転送する際に、ねじピッチを含む Vericut 固有のスレッドミルパラメーターをサポートしました。
- PROEV インターフェースで Creo 13 (Creo+) をサポートしました。

■ 工具インターフェース

ZOLLER

- ZOLLER インターフェース経由でプローブ角度寸法を転送できるようにしました。

■ VDAF

- ポイント位置の処理およびリトラクトプログラミング用のロボット関節角度の直接出力をサポートしました。
- 複数の True/False 設定を必要とするサイクル定義をサポートするため、VCPost に追加のスイッチオプションを追加しました。
- VDAF ポストで補助ファイルのファイル名および拡張子を指定できるようにしました。

V9.7.1 で解決した問題

■ ベリフィケーション

- 干渉検出距離が単位切り替え時に正しく変換されない問題は修正されました。
- 参照されたポリッシャー工具がシミュレーション中に誤って材料を除去する問題は修正されました。
- 工具にすでに材料の材質データが割り当てられている場合に `ADD_LEARN_SMR` が機能しない問題は修正されました。
- レビューモード使用中にグラフデータパネルのデータがクリアされる問題は修正されました。
- 保存した注釈付き画像にアクティブなビューウィンドウのアイコンが表示される問題は修正されました。
- 最適化で回転モデルを使用した際に発生する問題は修正されました。
- ツールパスレビュー中に最適化ステータスが更新されない問題は修正されました。
- フェーシングヘッド使用時に誤った干渉が報告される問題は修正されました。
- 回転体カッターによる誤った材料除去、または材料除去が行われない問題は修正されました。
- 「カッターを短くしない」の結果が V9.7 と旧バージョンで異なる問題は修正されました。
- 最小工具突き出し長さの計算時に工具のゲージ点が誤って移動する問題は修正されました。
- NC プログラムのみをインポートした際にメッセージが表示されない問題は修正されました。
- 破損したアセンブリーファイルの読み込み時に `Vericut` がクラッシュする問題は修正されました。
- `.vctemplate` ファイルの改ページを指定した位置ではなくフッターにのみ配置できる問題は修正されました。
- オプティマイザーレポートで終了時画像が正しく表示されない問題は修正されました。
- `Vericut 9.6` で作成されたレビューアーファイルを `Vericut 9.7` のレビューアーで開くと材料が消える問題は修正されました。
- ミリング加工 OK オプションの変更内容が工具を保存した後に保持されない問題は修正されました。

■ 工具マネージャー

- パスの変数が工具マネージャーのファイルパスに適用されない問題を修正しました。
- マルチステーション工具モデルのホルダー名および ID が保持されない問題は修正されました。
- マルチステーション工具を TLS ファイルに保存した際に「クーラントスルータイプに対応」設定が保持されない問題は修正されました。
- 旋削工具の駆動点グリッド計算を改善し、インサートコーナーの検出精度を向上させ、自動作成および更新の信頼性を向上しました。
- 工具ファイル読み込み時にリーマの首下長さが保持されない問題は修正されました。
- 工具マネージャーで工具をコピー & ペーストした際に工具構造が保持されない問題は修正されました。

■ 最適化

- 材料が存在するゼロカット加工時にエアカット送り速度が適用される問題は修正されました。
- ゼロカット検出を改善し、適切な送り速度が適用されるようにしました。

■ Gコード処理

- 複数チャネル VMC で工具径補正が有効な場合に Vericut が応答しなくなる問題は修正されました。
- 同一 NC プログラム内で複数チャネルを処理する際にプログラム名が重複する問題は修正されました。

■ CAD/CAM インターフェース

PROEV

- ファイル名に特殊文字が含まれている場合に、PROEV インターフェースから出力した治具が欠落する問題は修正されました。

Mastercam

- Mastercam インターフェース経由で転送されたタップ工具に関する問題は修正されました。

■ 工具インターフェース

MachiningCloud

- MachiningCloud インターフェース経由で最適化設定が正しくインポートされない問題は修正されました。

■ VDAF

- 軸原点を選択した際に X 軸に対して法線方向の動作が発生する問題は修正されました。
- VDAF 処理中に法線ベクトルデータが失われる問題は修正されました。
- 既存のファスナー位置への穴あけで「ドリル位置が既存の穴に近すぎます」エラーが報告されない問題は修正されました。ファスナー部品がすでに取り付けられている位置では、エラーを報告するようにしました。

V9.7.1 の新しいマクロ

次の新しいマクロが V9.7.1 で追加されます。これらのマクロの詳細については、ヘルプを参照してください。

Ijk2AnglesApplyCutterAxis

RpcpPartZeroAdjust

Circle360CheckOnOff

